

様式第2号（第3条関係）

行政視察等報告書

令和8年2月12日

米子市議会議長様

（会派の場合）

会派名

代表者氏名 中田利幸

提出者氏名 大下哲治

（議員の場合）

議員名



（印）

下記のとおり報告します。

記

項目	<input type="checkbox"/> 現地調査 <input checked="" type="checkbox"/> 行政視察 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 <input type="checkbox"/> 研修会への参加 <input type="checkbox"/> 会議への参加
参加者	大下哲治 安達卓是 伊藤ひろえ
期日	令和8年2月4日
〔視察等年月日・場所・内容〕 視察年月日：令和8年2月4日（水）12：00～16：00	
場所：石坂産業株式会社（埼玉県入間郡三芳町上富 1589-2）	
視察内容：「高度選別プラントのプロセス及び、透明性をブランドに変えるための物理的・組織的な工夫の視察」について 「三富今昔村を通じた、事業と環境保全の統合モデルを体感」について	
〔視察の目的〕〔視察等要旨〕 〔視察等（説明）要旨に対する考え方、及び本市の事務事業の参考となる点〕 ※別紙のとおり	
経費	旅費 184,701円 合計 184,701円

〔視察等の目的〕

石坂産業は、埼玉県三芳町に拠点を置く産業廃棄物中間処理企業である。かつて「ダイオキシン騒動」という大きな危機に直面しながら、そこから劇的な改革を遂げ、今や「世界中から見学者が訪れる産廃企業」となった。また単なるごみ処理場ではなく、自然と共生し、資源を循環させるサーキュラーエコノミー(循環型経済)の先駆者といえる企業でもある。今回、「捨てない社会」を目指す資源循環の仕組みと、失われた自然を再生する環境教育の取り組みを視察し、企業がいかにして社会課題の解決を自社のコア事業に組み込み、地域社会と共生できるのか、その具体的な手法を研究する。

〔視察等要旨〕

石坂産業では、企業独自に「Zero Waste Design」という経営哲学を掲げている。これは「ゴミにしない。ゴミを資源に変えるだけでなく、ゴミそのものを出さない社会をデザインする」という意味で提唱されており、同社における減量化・再資源化率は98%を実現している。そして、それを可能にしているのが、機械だけでなく熟練工の手による選別作業の組み合わせである。また、工場内においては埃や騒音を遮断し、上部からプロセスの全容を一望できる見学通路を設置。来場者に全行程を公開する「見せる工場」としている。こうした姿勢は排出事業者や消費者の意識を変え、「ゴミを出さない工夫」を社会全体に促す啓発活動となっている。工場の横には、石坂産業が運営する「三富今昔村(さんともこんじゃくむら)」という里山がある。ここはかつて不法投棄のゴミで溢れていた森を、社員自らが長い年月をかけて清掃・整備し、本来の雑木林の姿を取り戻した場所である。生物多様性を重視した取り組みにより、絶滅危惧種を含む動植物が戻ってきており、生態系の保全・回復を定量評価するJHEP認証では、最高ランク(AAA)を取得している。また、この里山では落ち葉堆肥作り、季節の野菜収穫など、都市部では失われた「里山の暮らし」を五感で学ぶプログラムを体験できる。「自然と人、そして企業がいかに共生するか」を具現化した体験型環境教育フィールドとなっており、子供向けの環境学習から企業のサステナビリティ研修まで、幅広い層に向けた教育プログラムが用意されている。昨年度は、国内のみならず世界から5,000人が研修に訪れた。現在の従業員数は230名、平均年齢は42.8歳と活気があり、女性社長のもと、女性幹部比率も50%と高い水準を誇っている。入社1年目からアイデアを提案し、採用されると正当に評価される体制が整っているため、若手社員のやりがいや挑戦する精神の醸成に繋がっている。また、女性幹部が多いことで、細部まで行き届いた配慮が徹底されている点も特徴となっている。海外からの研修受け入れにあたっては、7ヶ国の外国人スタッフを雇用。世界各国からの視察に円滑に対応できる体制を構築している。

[視察等(説明)要旨に対する考え方及び本市の事務事業に参考となる点]

かつて三芳町において「厄介者」とされた石坂産業は、今や地域の経済・自然・雇用等において不可欠な存在であるばかりか、交流の拠点として地域にとって必要不可欠な存在へと変貌を遂げました。そして今回の視察においては逆境を最強のブランドに変える力の重要性を学んだ。

昨年、米子市淀江町小波における産業廃棄物最終処分場の設置が決定した。しかし、この決定は住民間に深刻な禍根を残したのみならず、時間の経過とともに住民の関心自体も希薄化しつつあるのが現状である。石坂産業はかつて「ダイオキシン騒動」という倒産危機に直面した際、「反対運動があるから隠す」のではなく、あえて「すべてを公開し、日本一きれいな工場にする」という真逆の決断を下した。その決断こそが、現在の礎となっている。淀江の産業廃棄物最終処分場においても地域の汚点とするのではなく、地域にとってなくてはならない存在となるよう石坂産業の取り組みを今後の本市の取組においても参考にしたい。

また、今回の視察において最も感銘を受けたのが、社員の徹底した「おもてなし精神」である。現在、工場内には全天候型の見学通路が整備され、年間数万人の見学者を受け入れている。かつては「見られること」が社員の精神的負担になっていたというが、見学通路の白壁に見学者からのメッセージを募るようにしたところ、「ありがとう」「頑張って」「いつも応援しています」といった好意的な声が寄せられた。これが社員にとって「常にプロの仕事を見られている」という適度な緊張感を生み出し、誇りを持って働く原動力となっている。本市においても、掲示板等を使い職員に対する応援メッセージを募集し、それを誰もが見られる環境を整えることで、職員の意識改革や仕事に対する達成感の醸成、ひいては職場環境の改善に大きく寄与するのではないかと考えられ、大変参考となった。

旅費計算表

令和8年2月4日

信風 会派研修
埼玉県入間郡三芳町

月 日	区間	鉄道路線名	区 間 キ ロ 数	目的地まで のキロ数	運 賃	グリー ン	急 行 料 金		宿 泊 手 当 宿 泊 費		
							特 別	新 幹 線	(朝食付き)	東京都	
2/4	米子空港～羽田空港	ANA	776.0		44,600				1,600円		
(水)	羽田空港～浜松町	モノレール	17.0		519						
	浜松町～有楽町	JR	2.3		146						
	有楽町～和光市	メトロ	21.2		554						
	和光市～ふじみ野	東武東上線	11.7								
	(研 修)										
	ふじみ野～朝霞台	東武東上線	7.8		377						
	朝霞台～池袋	東武東上線	16.4								
	池袋～品川	JR	15.4		274						
	品川～羽田空港	京急	14.5		327						
	羽田空港～米子空港	ANA	776.0		往復						
計	議員旅費			46,797	46,797	0	0	0	0	0	0
	随行旅費			0							

出席議員 大下議員、伊藤議員、安達議員

議員旅費	46,797 × 3名 =	140,391 円
研修参加費	9,350 × 3名 =	28,050 円
手数料	1,000 × 3名 =	3,000 円
航空券キャンセル料(中田議員)	10,460	10,460 円
(+田)手数料	1,000 × 1名 =	1,000 円
		① 182,901 円

自宅～米子空港までの自家用車代11km×25円×2=	550 円(伊藤議員:片道11km)
自宅～米子空港までの自家用車代21km×25円×2=	1050 円(大下議員:片道21km)
自宅～米子空港までの自家用車代4km×25円×2=	200 円(安達議員:片道4km)
② 1800 円	

合計①+②= 184,701 円

行政視察行程（会派：信風3名）

月 日	行 程	宿 泊 先
2 / 4 (水)	<p>7:20 8:40 9:10 9:29 9:35 9:40 9:50 10:31 10:49</p> <p>米子空港====羽田空港=====浜松町=====有楽町=====和光市)====ふじみ野</p> <p>ANA382 便 東京モノレール空港快速 JR 京浜東北・根岸線 東京メトロ有楽町線 東武東上線</p> <p style="text-align: right;">※ふじみ野駅11:30発の無料送迎バス利用（交流プラザ着）</p>	【昼食】 ふじみ野駅付近
	<p>石坂産業(株)視察 正午から午後3時45分まで 【三富今昔村事務局：高継様】 ☎049-259-6565</p> <p>【調査項目】最先端の資源再生工場と生物多様性の里山の取組みについて（環境デザインマスターベーシックコース）</p> <p>【場所】埼玉県入間郡三芳町上富 1589-2</p>	
	<p>16:50 17:02 17:03 17:19 17:25 17:55 18:03 18:26 19:55 21:20</p> <p>交流プラザ====ふじみ野=====朝霞台=====池袋=====品川=====羽田空港=====米子空港</p> <p>送迎バス 東武東上線準急 東武東上線川越特急 JR 山手線内回り 京急本線急行 ANA389 便</p> <p>※交流プラザ16時発の無料送迎バス利用⇒ふじみ野駅まで</p>	